Copyright © 2016 NTT DATA INTRAMART CORPORATION

↑Top

目次

- 1. 改訂情報
- 2. はじめに
  - 2.1. 本書の目的
  - 2.2. 前提条件
  - 2.3. サポートするPDFファイルの制限
  - 2.4. 対象読者
  - 2.5. 用語解説
- 3. インストール前に
  - 3.1. 全体のインストール作業の流れ
  - 3.2. ■＜構成(1)＞ 各APサーバに IM-PDFTimeStamper for Accel Platform をインストールする場合
  - 3.3. ■＜構成(2)＞ APサーバとは別に タイムスタンプ処理サーバ を用意し、APサーバがタイムスタンプ処理サーバ を共有して利用する場合
  - 3.4. インストール前に必要な確認事項
  - 3.5. 注意事項
  - 3.6. 運用マシン構成
- 4. インストール・環境設定
  - 4.1. ■＜構成(1)＞ 各APサーバに IM-PDFTimeStamper for Accel Platform をインストールする場合
    - 4.1.1. タイムスタンプライブラリの配置
    - 4.1.2. プロジェクトの作成とモジュールの選択
  - 4.2. ■＜構成(2)＞ APサーバとは別に タイムスタンプ処理サーバ を用意し、APサーバがタイムスタンプ処理サーバ を共有して利用する場合
    - 4.2.1. タイムスタンプ処理サーバ での作業
    - 4.2.2. intra-mart Accel Platform サーバでの作業
- 5. アンインストール
  - 5.1. ■＜構成(1)＞ 各APサーバに IM-PDFTimeStamper for Accel Platform をインストールする構成の場合
    - 5.1.1. 作業前に...
    - 5.1.2. IM-PDFTimeStamper for Accel Platform の削除
  - 5.2. ■＜構成(2)＞ APサーバとは別に タイムスタンプ処理サーバ を用意し、APサーバがタイムスタンプ処理サーバ を共有して利用する構成の場合
    - 5.2.1. intra-mart Accel Platform サーバでの作業
    - 5.2.2. タイムスタンプ処理サーバ での作業
- 6. 付録
  - 6.1. CRL配布点のURL

改訂情報

変更年月日	変更内容
2016-08-01	初版
2016-12-01	第2版 下記を追加・変更しました。 ▪ 「 *プロジェクトの作成とモジュールの選択* 」にIM-Juggling経由でのインストール方法を追加
2017-04-01	第3版 下記を追加・変更しました。 ▪ 「インストール前に」に注意事項を追記
2018-08-01	第4版 下記を追加・変更しました。 ▪ 「はじめに：サポート対象のPDFファイル」で「**サポートするPDFファイルの範囲.pdf**」の文書プロパティを削除
2018-12-01	第5版 下記を追加・変更しました。 ▪ 表記のゆれを訂正
2019-04-01	第6版 下記を追加・変更しました。 ▪ jarファイル名を ysspdf.jar から pdftstamp-1.0.7.jar へ変更
2020-04-01	第7版 下記を追加・変更しました。 ▪ jarファイルのバージョンを pdftstamp-1.0.7.jar から pdftstamp-1.0.8.jar へ更新 ▪ CD-ROMの記述を削除 ▪ 「 *プロジェクトの作成とモジュールの選択* 」に「アプリケーションを複数同時に選択する場合は、必ず同じバージョンを選択してください。」と明記
2020-08-01	第8版 下記を追加・変更しました。 ▪ jarファイルのバージョンを pdftstamp-1.0.8.jar から pdftstamp-1.0.9.jar へ更新

変更年月日	変更内容
2020-12-01	第9版 下記を追加・変更しました。 ■ 「 ■＜構成(1)＞ 各APサーバに IM-PDFTimeStamper for Accel Platform をインストールする場合 」 ■ 「 タイムスタンプライブラリの配置 」の記述を変更 ■ 「 タイムスタンプ処理サーバ での作業 」 ■ 「 タイムスタンプライブラリの配置 」の記述を変更 ■ 「 warファイルのデプロイ 」の記述を変更 ■ 「 Tomcat の起動」の記述を変更
2021-08-01	第10版 下記を追加・変更しました。 ■ 「**サポートするPDFファイルの範囲.pdf**」を更新 ■ 「 インストール前に必要な確認事項 」の記述を変更 ■ 「 付録 」を追加
2021-12-01	第11版 下記を追加・変更しました。 ■ 「サポート対象のPDFファイル」から「 サポートするPDFファイルの制限 」へタイトル変更 ■ 「**サポートするPDFファイルの範囲.pdf**」を更新
2022-06-01	第12版 下記を追加・変更しました。 ■ jarファイルのバージョンについては明記せず、 pdftstamp-X.X.X.jar へ記述を変更
2022-12-01	第13版 下記を追加・変更しました。 ■ 「 Tomcat のインストール 」の Tomcat のバージョンに関する記述、コラムを削除 ■ 「 warファイルのデプロイ 」のコラムの Tomcat のバージョンに関する記述を削除 ■ 「 warファイルのアンデプロイ 」の Tomcat のバージョンに関するコラムを削除 ■ 「 Tomcat のアンインストール 」の Tomcat のバージョンに関する記述、コラムを削除

変更年月日	変更内容
2023-10-01	第14版 下記を追加・変更しました。 ■ 「 *インストール前に* 」 ■ 「 ■*＜構成(1)＞ 各APサーバに IM-PDFTimeStamper for Accel Platform をインストールする場合* 」の環境変数の設定に関する記述を削除 ■ 「 ■*＜構成(2)＞APサーバとは別に タイムスタンプ処理サーバ を用意し、APサーバが タイムスタンプ処理サーバ を共有して利用する場合* 」のタイムスタンプライブラリの配置に関する記述、および、環境変数の設定に関する記述を削除 ■ 「 *インストール・環境設定* 」 ■ 「 *タイムスタンプ処理サーバ での作業* 」 ■ 「 タイムスタンプライブラリの配置 」を削除 ■ 「 環境変数の設定 」を削除 ■ 「 *Tomcat のインストール* 」のCLASSPATHに関する手順を削除し、jarファイルに関する手順を追加 ■ 「 *アンインストール* 」 ■ 「 ■*＜構成(1)＞ 各APサーバに IM-PDFTimeStamper for Accel Platform をインストールする構成の場合* 」 ■ 「 環境変数の削除 」を削除 ■ 「 ■*＜構成(2)＞APサーバとは別に タイムスタンプ処理サーバ を用意し、APサーバが タイムスタンプ処理サーバ を共有して利用する構成の場合* 」 ■ 「 *必要な作業* 」の環境変数の削除に関する記述を削除 ■ 「 環境変数の削除 」を削除

はじめに

目次

- 本書の目的
- 前提条件
- サポートするPDFファイルの制限
- 対象読者
- 用語解説

本書の目的

本書では IM-PDFTimeStamper for Accel Platform のセットアップ手順について説明します。

前提条件

以下のドキュメントに記載されているシステム要件を満たしている必要があります。

- 「IM-PDFTimeStamper for Accel Platformリリースノート」

サポートするPDFファイルの制限

事前にご評価頂ければ、一般的なPDFファイルはほとんど問題がないことはご理解頂けると思いますが、安定した運用を考えますとPDFファイルを生成するソフトを制限することをお勧めします。
以下はサポートするPDFファイルの範囲です。ご確認をお願い致します。
下記以外のPDFファイルでも、別途有償にてサポート可能な場合があります。個別に営業までご相談ください。

- **サポートするPDFファイルの範囲.pdf**

対象読者

以下の利用者を対象としています。

- IM-PDFTimeStamper for Accel Platform のセットアップを行われる方

用語解説

- Resin をインストールしたディレクトリを %RESIN_HOME% と略します。
- Apache HTTP Server をインストールしたディレクトリを %APACHE_HOME% と略します。
- Storage として使用するディレクトリを %PUBLIC_STORAGE_PATH% と略します。

- Webサーバ利用時の静的コンテンツを配置するディレクトリを %WEB_PATH% と略します。
- Tomcatをインストールしたディレクトリを %CATALINA_HOME% と略します。

インストール前に

目次

- 全体のインストール作業の流れ
- ■<構成(1)> 各APサーバに IM-PDFTimeStamper for Accel Platform をインストールする場合
- ■<構成(2)> APサーバとは別に タイムスタンプ処理サーバ を用意し、APサーバが タイムスタンプ処理サーバ を共有して利用する場合
- インストール前に必要な確認事項
- 注意事項
- 運用マシン構成

全体のインストール作業の流れ

IM-PDFTimeStamper for Accel Platform は、2パターンの構成が可能です。

<構成(1)>

各APサーバに IM-PDFTimeStamper for Accel Platform をインストールする構成

<構成(2)>

APサーバとは別に タイムスタンプ処理サーバ を用意し、APサーバが タイムスタンプ処理サーバ を共有して利用する構成

各構成は、以下の手順でインストール作業を進めます。

■<構成(1)> 各APサーバに IM-PDFTimeStamper for Accel Platform をインストールする場合

- intra-mart Accel Platform サーバでのインストール作業
  1. タイムスタンプライブリ(jarファイル)の配置
  2. warファイルのデプロイ
  3. テナント環境のセットアップ

■<構成(2)> APサーバとは別に タイムスタンプ処理サーバ を用意し、APサーバが タイムスタンプ処理サーバ を共有して利用する場合

- タイムスタンプ処理サーバ でのインストール作業

1. JDKのインストール
2. Tomcatのインストール
3. warファイルのデプロイ
4. Tomcatの設定・起動

- intra-mart Accel Platform サーバでのインストール作業
  1. モジュールの配置
  2. warファイルのデプロイ
  3. テナント環境のセットアップ

付属のサンプルプログラムが正常に動作することを確認し、インストール作業は完了です。

インストール前に必要な確認事項

インストール前に、必ず以下を設定・確認してください。

- OSの最新のパッチを適用してください。
- 必ずインストールするマシン自体にアドミニストレータ権限のあるユーザでログインしてください。ネットワークのアドミニストレータ権限があっても、そのマシン自体にその権限がないことも考えられます。
- Tomcatのポート番号は Resinサーバ のポート番号と衝突しないようにしてください。

  Tomcatのポート番号は %CATALINA_HOME%/conf/server.xml にて設定できます。

【重要】

セイコー社のタイムスタンプサーバ（インターネット上）にアクセスする際に、プロキシ経由の場合ではそのままではタイムスタンプを付与できません。

<手法1 プロキシサーバを経由しない>

プロキシサーバを経由しないようにして、セイコー社のタイムスタンプサーバにアクセスしてください。

<手法2 プロキシの設定を変更する>

- スタンドアロン環境、かつ、実行環境のネットワークがプロキシサーバを経由している場合、次の設定をしてください。

  Resinの設定ファイルからプロキシサーバのホスト名、IPアドレスを指定

  - アクセス先のURLが< https >の場合

[<RESIN_HOME>\conf\resin.xml]の「<resin xmlns="http://caucho.com/ns/resin" ～」の下に以下の記述を追加
<system-property https.proxyHost="<プロキシのURL>"/>
<system-property https.proxyPort="<プロキシのポート>"/>

- アクセス先のURLが< http >の場合

[<RESIN_HOME>\conf\resin.xml]の「<resin xmlns="http://caucho.com/ns/resin" ～」の下に以下の記述を追加
<system-property http.proxyHost="<プロキシのURL>"/>
<system-property http.proxyPort="<プロキシのポート>"/>

- 実行環境のネットワークがプロキシサーバを経由している場合、次の設定をしてください。

  Tomcatのプロパティファイルからプロキシサーバのホスト名、IPアドレスを指定

  - アクセス先のURLが< https >の場合

[<TOMCAT_HOME>\conf\catalina.properties]に以下の記述を追加
https.proxyHost=<プロキシのURL>
https.proxyPort=<プロキシのポート>

  - アクセス先のURLが< http >の場合

[<TOMCAT_HOME>\conf\catalina.properties]に以下の記述を追加
http.proxyHost=<プロキシのURL>
http.proxyPort=<プロキシのポート>

注意事項

以下を事前にご確認ください。

- ウイルスソフトによっては、ウイルスチェック時にファイルを掴むものがあります。PDF処理に影響がでる場合は、作業フォルダをウイルスチェックの対象から外す必要があります。
- ■＜構成(2)＞ APサーバとは別に タイムスタンプ処理サーバ を用意し、APサーバが タイムスタンプ処理サーバ を共有して利用する場合は、各サーバのJDKバージョンは一致させてください。異なるJDKのバージョンが混在した環境はサポート対象外です。
- タイムスタンプ処理サーバ は、単独で動作可能であり、 intra-mart Accel Platform がインストールされている必要はありません。
- タイムスタンプ処理サーバ は、複数台用意して分散環境として使用可能です。この場合、その数分の IM-PDFTimeStamper for Accel Platform のご購入が必要です。

運用マシン構成

以下に、マシン構成例を示します。

- マシン構成例 (1) - スタンドアロン環境

  intra-mart Accel Platform サーバ（Windows）1台で運用するケースです。

- マシン構成例 (2) - 分散環境

  intra-mart Accel Platform サーバ（Windows）1台と、 タイムスタンプ処理サーバ 1台で運用するケースです。

- マシン構成例 (3) - 分散環境

  intra-mart Accel Platform サーバ（Linux）1台と、 タイムスタンプ処理サーバ 1台で運用するケースです。

- マシン構成例 (4) - 分散環境

  intra-mart Accel Platform サーバ（Linux）1台と、 タイムスタンプ処理サーバ 2台で運用するケースです。

インストール・環境設定

IM-PDFTimeStamper for Accel Platform のセットアップに必要な以下のインストールおよび設定を行います。

■＜構成(1)＞ 各APサーバに IM-PDFTimeStamper for Accel Platform をインストールする場合

intra-mart Accel Platform サーバでの作業内容を説明します。

目次

- タイムスタンプライブラリの配置
- プロジェクトの作成とモジュールの選択

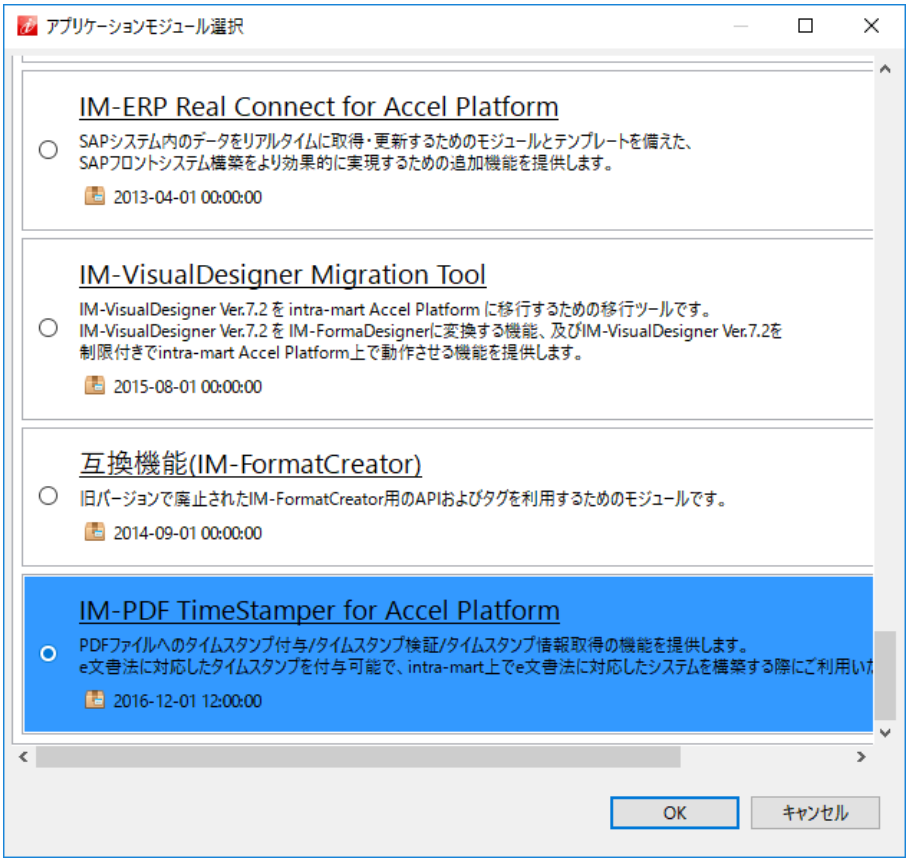
タイムスタンプライブラリの配置

1. intra-mart Accel Platform サーバに管理者権限（Administrator）のあるユーザでログインしてください。
2. intra-mart Accel Platform サーバの共通libフォルダ（%RESIN_HOME%/libが一般的）にタイムスタンプライブラリ（ TimeStampClient.jar 、 pdftstamp-X.X.X.jar ）ファイルを配置します。
   各jar ファイルは、libフォルダにあります。

場所	ファイル名
%RESIN_HOME%/lib	TimeStampClient.jar , pdftstamp-X.X.X.jar

プロジェクトの作成とモジュールの選択

1. 「 intra-mart Accel Platform セットアップガイド 」にしたがって、プロジェクトを用意します。
   プロジェクトの作業手順の詳細については、「 intra-mart Accel Platform セットアップガイド 」を参照ください。
2. IM-Juggling で利用するアプリケーションを選択する際に、「 IM-PDFTimeStamper for Accel Platform 」を指定します。
3. WARファイルを生成しデプロイします。
   WARファイルの生成及びデプロイの手順ついては、「 intra-mart Accel Platform セットアップガイド 」を参照してください。



注意

下記アプリケーションを複数同時に選択する場合は、必ず同じバージョンを選択してください。

- IM-PDFDesigner for Accel Platform
- IM-PDFAutoConverter for Accel Platform
- IM-PDFCoordinator for Accel Platform
- IM-PDFDirectPrint for Accel Platform
- IM-PDFTimeStamper for Accel Platform

注意

既に IM-PDFTimeStamper for Accel Platform を導入中で、IM-PDFTimeStamper for Accel Platform 8.0.6 以降にバージョンアップする場合には、IM-Juggling の ユーザモジュールから IM-PDFCoordinator for Accel Platform を削除してください。

コラム

アプリケーションは後で追加することもできます。追加する方法は、「 intra-mart Accel Platform セットアップガイド 」-「アプリケーションの追加」を参照してください。

■＜構成(2)＞ APサーバとは別に タイムスタンプ処理サーバ を用

意し、APサーバが タイムスタンプ処理サーバ を共有して利用する場合

セットアップガイドをご説明します。

タイムスタンプ処理サーバ での作業

タイムスタンプ処理サーバ での作業内容を説明します。
タイムスタンプ処理サーバ を複数台 用意する場合は、各サーバに以下の作業を実施してください。

目次

- JDKのインストール
- Tomcat のインストール
- warファイルのデプロイ
- Tomcat の起動

JDKのインストール

1. タイムスタンプ処理サーバ に管理者権限（Administrator）のあるユーザでログインしてください。
   以下は参考としてJDK.Ver.7.x の前提で記述しています。基本は intra-mart Accel Platform で使用するJDKのバージョンと合わせてください。
2. JDKをダウンロードします。JDKのインストーラは、オラクル社のサイトからダウンロードできます。
   http://www.oracle.com/technetwork/java/javase/downloads/index.html （2016年4月 現在）
3. ダウンロードしたインストーラから、インストールを行います。インストールに関する詳細は、オラクル社のサイトを参照してください。
4. インストール完了後に、コマンドラインに以下を入力しリターンキーを押します。

   ```
   > java −version
   ```

5. コマンドラインにJavaのバージョン情報が表示されたら、インストールは成功です。

Tomcat のインストール

1. タイムスタンプ処理サーバ に管理者権限（Administrator）のあるユーザでログインしてください。
2. Tomcatのインストーラをダウンロードします。
   http://tomcat.apache.org/ （2016年4月 現在）

3. ダウンロードしたインストーラから、インストールを行います。
   インストールに関する詳細は、該当ドキュメントを参照してください。

4. Tomcatのポート番号は Resinサーバ のポート番号と衝突しないようにしてください。
   Tomcatのポート番号は< %CATALINA_HOME%/conf/server.xml >にて設定できます。

5. < %CATALINA_HOME%/lib >に、< TimeStampClient.jar >、および、< pdftstamp-X.X.X.jar > ファイルを配置します。
   各jarファイルは、libフォルダにあります。

warファイルのデプロイ

1. serverフォルダを開き、pdftimestamp.war ファイルを、TomcatのWEBアプリケーション配置ディレクトリにコピーします。
   通常は %CATALINA_HOME%/webapps です。

> **コラム**
> 複数台の タイムスタンプ処理サーバ を用意している場合は、すべての タイムスタンプ処理サーバ に対して実施してください。

> **注意**
> warファイルのデプロイ時には、WEBアプリケーションサーバ（Tomcat等）を停止してください。

Tomcat の起動

1. タイムスタンプ処理サーバ に管理者権限（Administrator）のあるユーザでログインしてください。

2. Tomcatを起動してください。

intra-mart Accel Platform サーバでの作業

intra-mart Accel Platform サーバでの作業内容を説明します。
intra-mart Accel Platform サーバを複数台 用意する場合は、各サーバに以下の作業を実施してください。

目次

- 必要な作業

必要な作業

以下の作業を実施してください。

1. 「 *プロジェクトの作成とモジュールの選択* 」

アンインストール

IM-PDFTimeStamper for Accel Platform のアンインストールに必要な以下の作業を行います。

■＜構成(1)＞ 各APサーバに IM-PDFTimeStamper for Accel Platform をインストールする構成の場合

intra-mart Accel Platform サーバでの作業内容を説明します。
intra-mart Accel Platform を複数台 ある場合は、各サーバに以下の作業を実施してください。

目次

- 作業前に...
- IM-PDFTimeStamper for Accel Platform の削除

作業前に...

Resinが停止されている必要があります。

IM-PDFTimeStamper for Accel Platform の削除

1. IM-Jugglingの「アプリケーション」タブで、「 IM-PDFTimeStamper for Accel Platform 」のチェックマークを外して、warファイルを作成します。
2. 作成したwarファイルを、Resinでデプロイします。

コラム
手順の詳細は、「 intra-mart Accel Platform セットアップガイド 」-「 intra-mart Accel Platform 構成ファイルの作成 」および、「 intra-mart Accel Platform の起動・停止 」を参照してください。

■＜構成(2)＞ APサーバとは別に タイムスタンプ処理サーバ を用意し、APサーバが タイムスタンプ処理サーバ を共有して利用する構成の場合

IM-PDFTimeStamper for Accel Platform をアンインストールします。

intra-mart Accel Platform サーバでの作業

intra-mart Accel Platform サーバでの作業内容を説明します。
intra-mart Accel Platform サーバが複数台 ある場合は、各サーバに以下の作業を実施してください。

目次

- 必要な作業

必要な作業

以下の、作業を実施してください。

1. 「 *作業前に...* 」
2. 「 *IM-PDFTimeStamper for Accel Platform の削除* 」

タイムスタンプ処理サーバ での作業

タイムスタンプ処理サーバ での作業内容を説明します。
タイムスタンプ処理サーバ が複数台ある場合は、各サーバに以下の作業を実施してください。

目次

- 作業前に...
- warファイルのアンデプロイ
- Tomcat のアンインストール
- JDKのアンインストール

作業前に...

Tomcatは停止してください。

warファイルのアンデプロイ

1. 「 pdftimestamp.war 」 ファイルと「 pdftimestamp 」というフォルダを、Tomcat のWEB アプリケーション配置ディレクトリから削除します。
   通常は %CATALINA_HOME%/webapps です。

> **コラム**
> 複数台の タイムスタンプ処理サーバ を使用している場合は、すべての タイムスタンプ処理サーバ に対して実施してください。

Tomcat のアンインストール

1. タイムスタンプ処理サーバ に、管理者権限（Administrator）のあるユーザでログインしてください。
2. コントロールパネルからプログラムの追加と削除を開き、Tomcatをアンインストールします。
   インストーラではなく、フォルダを解凍する方法でインストールしている場合は、該当フォルダを削除してください。

JDKのアンインストール

1. タイムスタンプ処理サーバ に管理者権限（Administrator）のあるユーザでログインしてください。

2. コントロールパネルからプログラムの追加と削除を開き、JDKをアンインストールします。

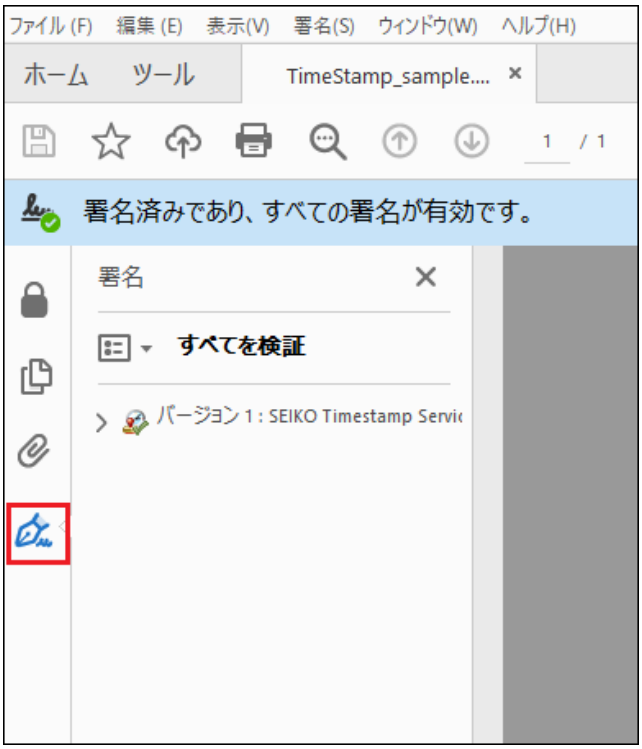
付録

CRL配布点のURL

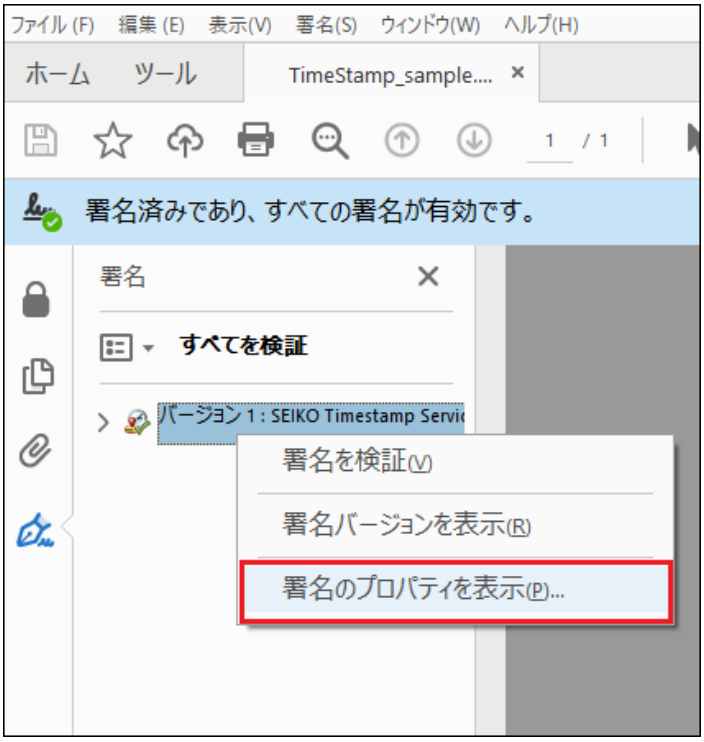
CRL配布点のURLを確認し、アクセスを許可してください。

確認手順については、次の通りです。

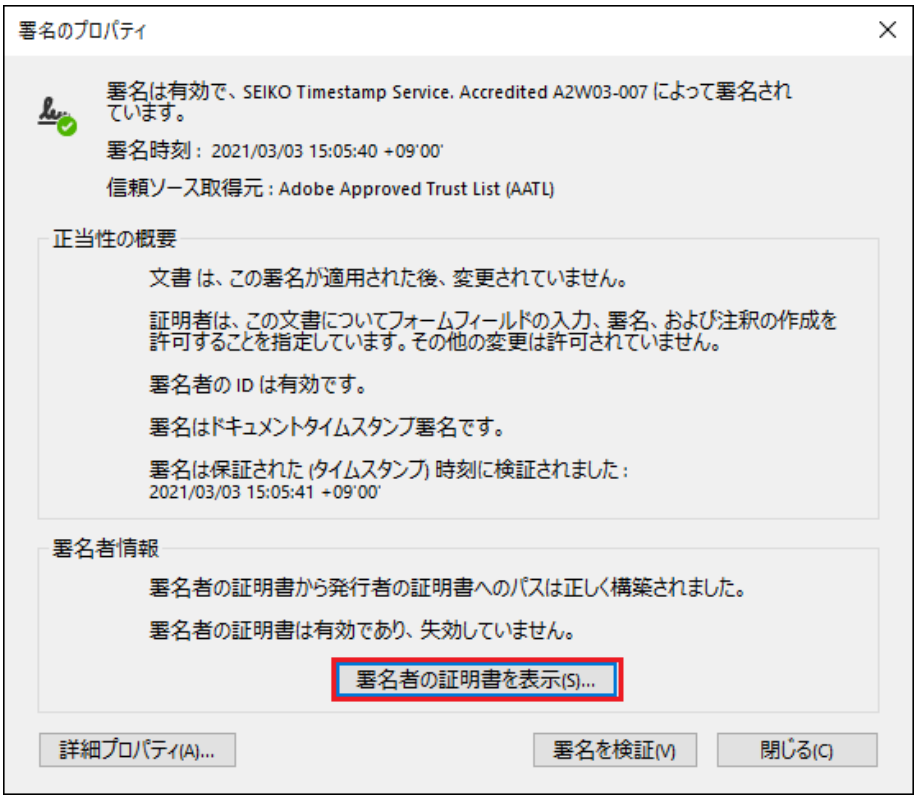
1. タイムスタンプを付与したPDFファイルを Adobe Acrobat Reader 、または、 Adobe Acrobat で開きます。
2. 左ツールバーの「ペン」アイコンをクリックします。



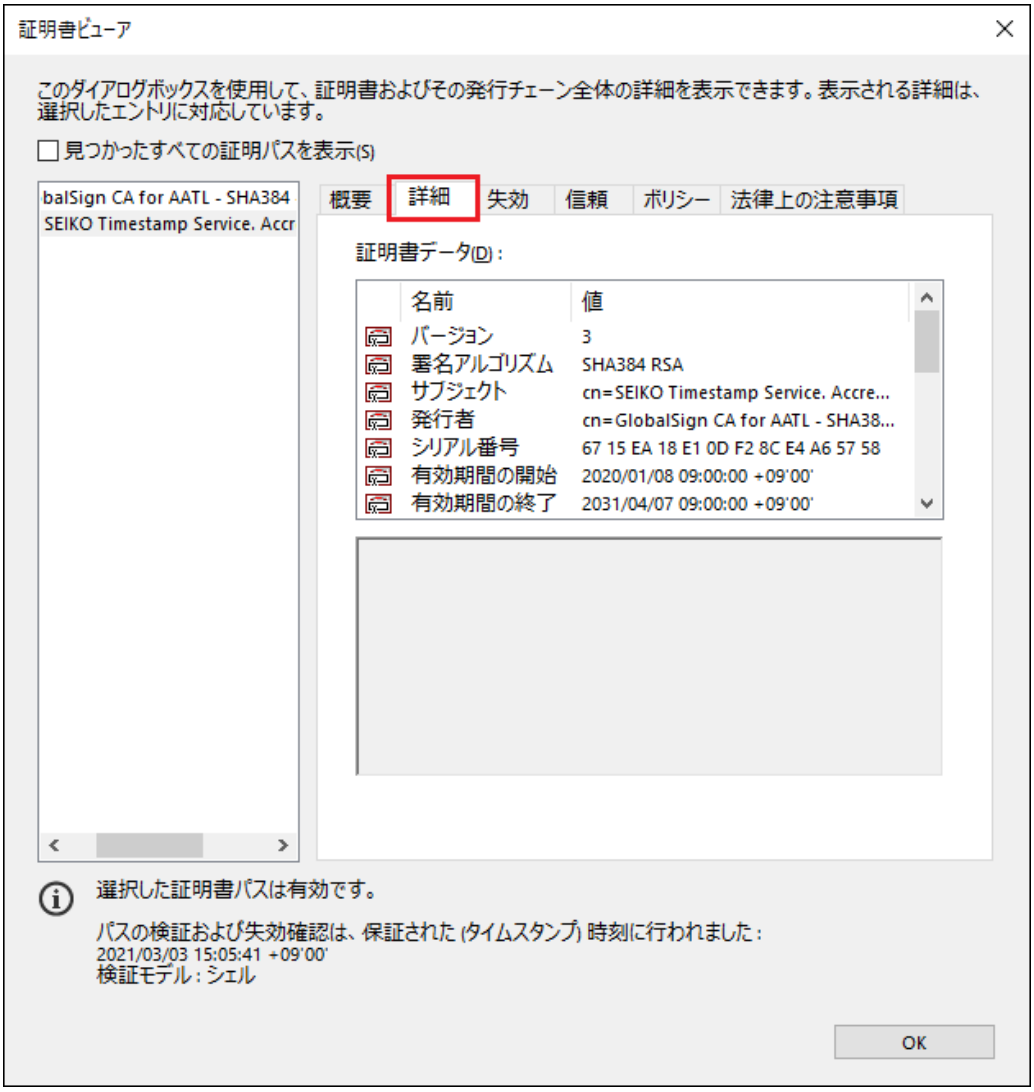
3. 「SEIKO TimeStamp...」-「右クリック」-「署名のプロパティを表示」をクリックします。



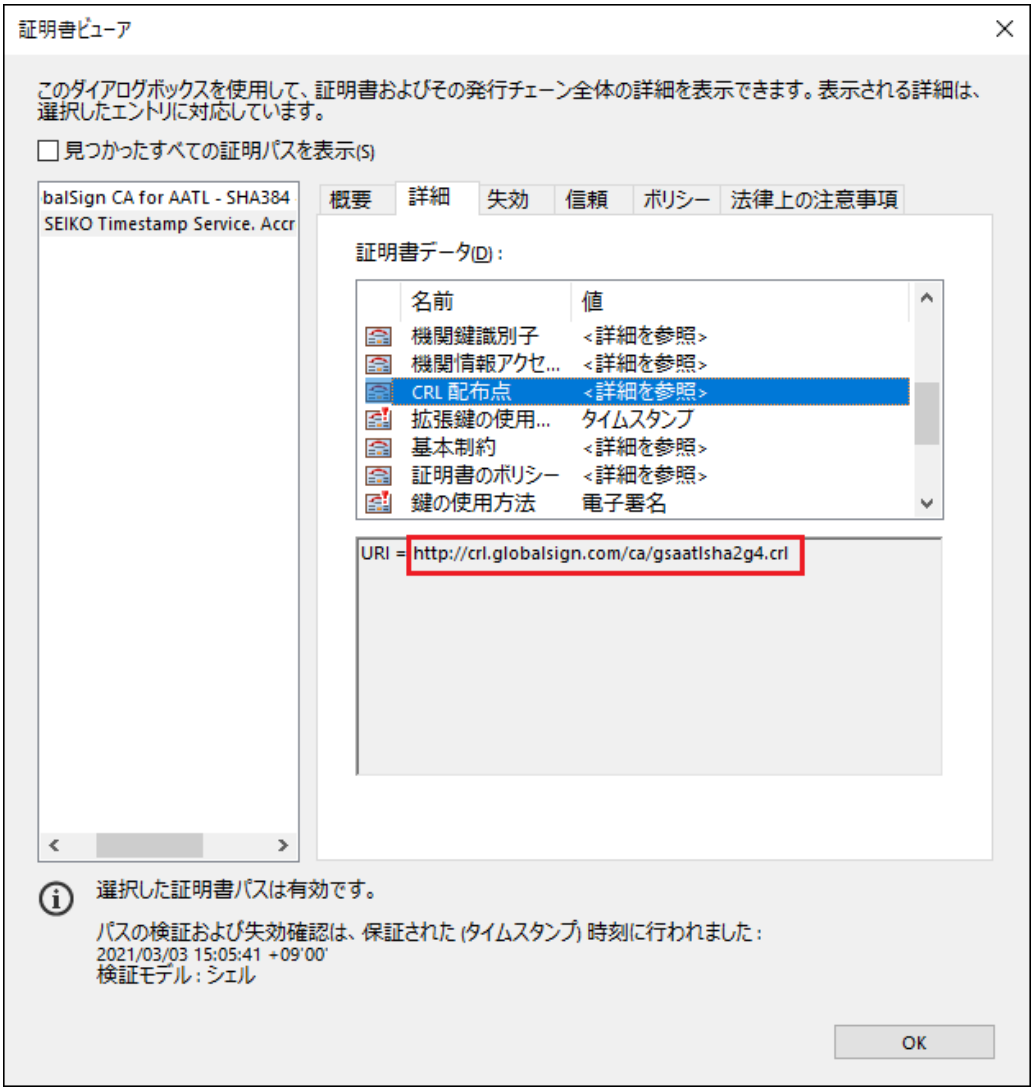
4. 「署名のプロパティ」画面が表示されるので、「署名者の証明書を表示」をクリックします。



5. 「証明書ビューア」画面が表示されるので、「詳細」タブをクリックします。



6. 「証明書データ」内をスクロールし、「CRL配布点」をクリックします。
   表示されるURLが、CRL配布点のURLです。



注意

上記画像イメージのURLは例です。

PDFファイルを実際に確認し、表示されたURLをアクセス許可してください。